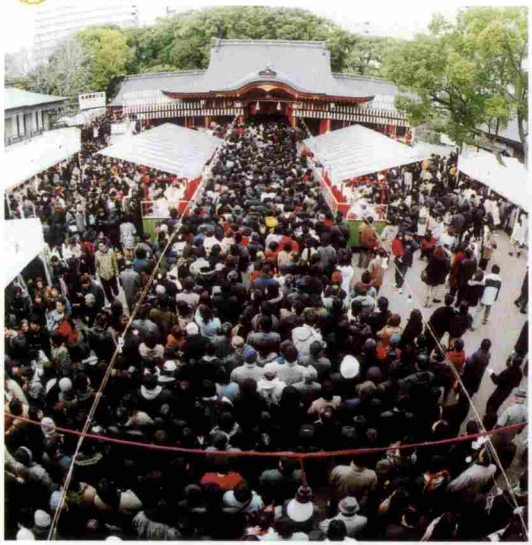
謹賀新年／2004申年●神戸の初詣

生田神社



一年の計を誓い幸福・繁栄を

生田神社春季例祭
宮元地区総合委員長
三條正豊

生田神社は神戸の地名発祥の歴史を持つ鎮座1800余年を数える由緒あるお社です。

ご祭神・稚日女尊様（わかひるめのみこと）は伊勢の神宮にお祀りされる天照大神様（あまてらすおおみかみ）とご関係が深く、生成化育、社業繁栄、家運隆昌、健康長寿、交通安全の守護神として、神戸はもとより広く全国の人々に尊崇されております。

新しき年の年頭に、ご神威畏きこの生田神社にご参拝頂き、生田大神様のご神徳を頂かれ決意も新たに更なる発展を寿ぎ下さい。

生田神社
神戸市中央区下山手通1-2-1
☎078-321-3851
http://www.ikutajinja.or.jp

湊川神社

〝楠公さん〟へお参りを

湊川神社崇敬会長
秋田博正

通称〝楠公さん〟で親しまれて来ました湊川神社には、忠誠と正義とを示されて名高い楠木正成公がお祀りされ、市民の憩の場となっています。楠樹に覆われた境内は、いつも掃除が行届いて清々しく、神様の御存在を窺い知る雰囲気につつまれ、心静かな参拝が出来ますことを、いつもうれしく思っています。

新年には、一年の抱負を胸に、楠公さんにあやかり清く正しい年が迎えられますよう、お参りされては、いかがでしょうか。

湊川神社
神戸市中央区多聞通3-1-1
☎078-371-0001
http://www.minatogawajinja.or.jp

一宮神社

氏神様で事始めのスタート

一宮神社総代
今井啓介

一宮神社では4月の春祭りと10月の秋祭り他、入学祈願、健康長寿感謝祈願祭が行われている。

近隣の住民の交流がある、宮司さんの人柄がこの神社の氏子の集いの温かさを現わしている。一切のものは神話で始まる。神話とは事始めであり、設計、夢、アイディア、創造である。神道は生命尊長の上につくられている。古事記の自転島（おのころじま）は地球の自転を霊智によって古代人が知っていた。その事を今の若者達が学ぶと、明るい日本に戻る日は必ず来ると信じている。

一宮神社
神戸市中央区山本通1-3-5
☎078-221-1281

北野天満神社

世界の平和は心の平和から

北野天満神社奉賛会常任理事
北野国際センター所長
前田美智子

今年の第23回北野国際まつりのセレモニーでは、在神のイスラム教の代表者と、ユダヤ教の代表者が、王伯林実行委員長と、佐藤典久宮司を交えて拝殿にて厳粛に世界平和の祈願が執り行われました。

世界各地では今も毎日紛争が続き多くの尊い命が失われていますが、北野天満神社では長年にわたり、日本神道の和を以て尊しとなすの精神で世界宗教の相互理解を目指して微力ながら活動を続けています。

北野天満神社
神戸市中央区北野町3-12-1
☎078-221-2139
http://www.kobe-kitano.net

蛭子神社（柳原のえべっさん）

えべっさんの〝福〟を授かって

蛭子神社
責任役員総代
河北文二

柳原えびす神社は、古くから霊験あらたかな「福の神」として深く崇敬されています。特に1月9日10日11日の「十日戎大祭」には、早朝から深夜まで、大勢の参拝者で大賑わいです。境内には珍しい大酒樽の賽銭箱。お供えの大きな魚や酒に目を見張ります。9日の「宵えびす」には神楽殿で、人形浄瑠璃・福神楽「戎舞」が奉納されます。見て、聞いて面白く楽しい人形芝居です。思わずニコニコとえびす顔あふれ、元気が出ます。是非参拝して〝福〟授かって下さい。良き年となりますように・・・・。

柳原蛭子神社
神戸市兵庫区西柳原町5-20
☎078-651-0183
http://www.hyogo-ebisu.com/

湯泉神社

子宝のお守り「玉鉾さま」「阿福さま」は、ホームページを通じて全国各地よりもとめられています。

有馬温泉の鎮守として

温泉神社総代会長
増田兵右衛門

有馬温泉は1300年の永き歴史の歩みの中、幾度かの変貌の時節を迎えて来ました。

一昨年より銀の湯、金の湯、有馬の工房とたて続けに改築が成され新たな装いを以て最登板し、昔ながらの温泉町の風情を醸し出しております。そして旧道沿にある町並みも商店も個性溢れ、歩いて楽しめる街づくりを強力に後押しをしています。

そんな中、湯泉神社より参詣して戴き易い演出を各行事や例大祭を実行する際には心掛け今後の有馬温泉の鎮守としての存在を大いに示しているところです。

湯泉神社
神戸市北区有馬町1908
☎078-904-0418
http://www.tousen.or.jp/

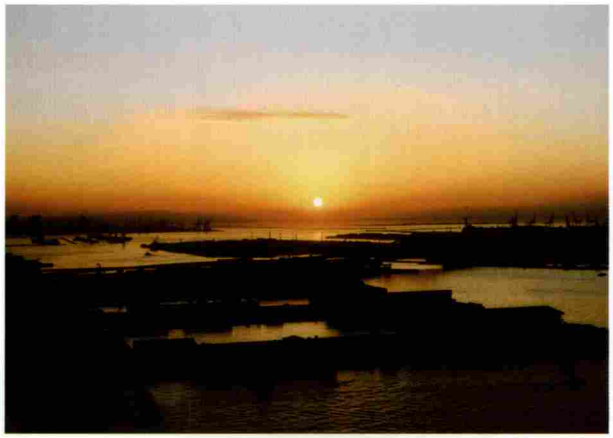
2004
神戸山の手・浜の手 初日の出情報

布引ハーブ園
New Year Event

●初日の出
平成16年1月1日(元旦)6:30～
場所：展望広場
ハーブワイン、御神酒のふるまい

●初日の出コンサート
平成16年1月1日(元旦)7:30～8:00
出演：神戸市混声合唱団
場所：森のホール

■問合せ 財団法人神戸市都市整備公社
TEL 078-271-1160



ポートタワー
New Year Event

● ポートタワーのジャンボ門松
平成15年12月27日～平成16年1月15日
タワー南入り口両サイドに、ジャンボ正月飾り

●初日の出
平成16年1月1日(元旦)6:30～
大阪湾・神戸港に昇る初日の出を地上100mからごらんいただくため、早朝オープン。
先着300名様にお年玉プレゼント。

■問合せ 社団法人神戸港振興協会事業課
TEL 078-391-6751

中山景甫さんインタビュー
自然界の色を使う仕事ができて本当に良かった

華道・未生流中山文甫会会長であり、今年創立50周年を迎えた兵庫県いけばな協会会長をつとめられた中山景甫さんが、本年度神戸市文化賞を受賞されました。それを記念し、中山さんの若い頃のお話や神戸のいけばな界のこと、ご自分の作品についてなどお話しいただきました。

中山　景甫（なかやま　けいほ）
1935年生まれ。未生流中山文甫会会長。
1999年 兵庫県いけばな協会会長に就任。

弁護士を目指していた学生時代

―お花は、先生が未生流のお家に生まれたときからですか。

中山　生まれたときから、ではないのです。慶応大学の法学部に入り、最初は家を継ぐことは考えていませんでした。姉が3人いまして、末っ子の貴重な男です（笑）。大学在学中に、年に2～3回、父が未生流の東京支部に来ていまして、そこに私も呼び出され、手伝いに行きました。学生ですからお金がないので、お小遣いほしさに（笑）それが始まりですね。正式には大学卒業後に、神戸に戻り華道をはじめました。最初は、たくさんの女性に囲まれて教えるのはとても大変でしたし、学生時代には、家にお稽古などでお客さんがたくさん出入りしていましたから、静かに勉強したいし、静かに暮らしたいなと思っていました。それがいつの間にかしっかりとなじんでしまった。やはり「カエルの子はカエル」と、昔の人はうまいことを言うなと思いますよ（笑）。やはり私も小さいころから家に花があった中で過ごしましたから、知らない間になじんでしまったのでしょうね。

若手華道家が集まった「ぞくの会」に参加

―兵庫県いけばな協会には25歳で入会。

中山　当時は小原豊雲先生が会長でおられて、私は父の代理で会議に出席したのが初めてですが、声をかけてくださったり、とても温かみのある先生でした。小原先生はとても勉強熱心な方で、のちに「関西いけばな研究グループ」という会を結成され、私も池坊の立華など、古典や、いけばなの歴史を勉強しました。これはとても勉強になりました。小原先生のような大黒柱が関西におられたから、たくさんの若手が伸びていったのだと思いますね。

―1964年には、布藤虚生、吉田泰巳、武田芦甫、佐伯一甫、福田寿岳、金尾博峰、西谷広円斎など、兵庫県の若手華道家が集まって「ぞくの会」を結成されましたね。

中山　27～8歳の頃でした。当時、兵庫県いけばな協会には役員の先生がたくさんおられて、何かえらそうなことを言われたので、それに反発して、もっとおもしろいことをしようと言って結成したのです。例えば1962年に須磨浦公園の山上で野外いけばな展を開催しました。それまでいけばなは部屋の中にあるべきものでしたが、外へ飛び出して、広い敷地の中で貧相なものはできないし、雨風に耐える大きな作品をいけなければなりませんでした。新しい試みでしたね。私の活動の中でも、特にこの「ぞくの会」が母体になってきました。神戸はそういう人材がそろっていたということもあります。メンバーは皆、年も近い仲間でしたから。

―活動の中で印象深いできごとはありますか。

中山　震災の直後、大丸でいけばな展がありましたが、準備期間中はまだ電車も止まったままで大変なときだったんです。大丸もくずれてせまいところに、私も作品を並べたのですが、お客さんが見に来られて、その中でお年を召した女性の方がお花を見ておられる顔が、なんともいえず、ほっとしたというか、いいお顔で見ておられるのですよ。私はそれを見ていて、いけばなの使命とはこれなのかなと、つくづく思いました。震災のとき、街から色が消えたでしょう。真っ暗でしたし。自然界のもつ色の貴重さをしみじみ感じたのが、あの展覧会でしたね。こういう、自然界の色を使える仕事ができて、本当にけっこうなことだなと、感謝しました。

技術あっての伝統文化

―中山先生が会長をつとめた兵庫県いけばな協会は、今年50周年を迎えました。大丸での展覧会も盛況でしたね。

　この展覧会には、若手華道家58人の作品が出瓶されました。これだけ集まるとは、予想していなかったのです。全国各地から、遠くは仙台からも出瓶があり、それぞれの土地にはそれぞれの花があって、それらが集まったのはおもしろかったですね。しかし若手でも、古典花を出展する方が多かったのは意外でしたね。我々が期待していたのは、もっと新しい主張のものが出ないかということだったんですが。それは、我々若手でも、こうして古典もできますよということを発表したかったとのことでした。せっかくこういう発表の場ですから、日頃追求していることの成果を発表したいなと、私なら思ったでしょう。今、私がいける作品の中で求めているのは「虚と実」が作品の中で現わせたらと思うのです。私は、変わっていく時代の中で、外国からの花材もどんどん増えていく中で、古いものだけにこだわるのはいかがなものかと思うのです。新たなものにどんどんチャレンジしていかないと、発展性がないと思うのです。いけばなは、それぞれの時代にそれぞれの型があります。そして200年前の型はつぶせないのですよ。それはそれできっちりと作られているから。伝統のものは、それは完璧な花姿があります。今回、古典花が若い作家から出たということは、逆に頼もしくもありますが。

―このたびは神戸市文化賞受賞おめでとうございます。

　今回の受賞は、兵庫県いけばな協会の会長ということでいただいたのだと思います。もし私が一匹狼でいたなら、ただ黙々と花を生けていたと思いますよ。兵庫県は仲間、同士に恵まれたということもあります。皆さんよく飲んで(笑)、話して、その中からアイディアや企画、知恵が生まれてきました。他府県にはない、チームワークもありましたし。現在はきびしい状況で、昔は80流派近くあったのが、今は46流派ですから、そういったきびしい時代の中で、まとまっていくことは大切だと思います。

　いけばなというのは、生活文化が基盤にあっても、そこに作家という立場での芸術を求めていく面があります。ですから芸道というのは、「用」と「術」の二面性があるのではないでしょうか。両方兼ね添えたものができればいいのでしょう。そういうものを求めながら作家活動を続けていけたらというのが私の夢でもあります。伝統文化というものは、日本人の精神性です。これから、日本の文化が認められる世代になるのではないでしょうか。伝統あっての現代。でもそれには、充分修行を積まないといけないのですよ。やはり技術あっての世界ですから。同じことばかり繰り返してという世界、今の若い人は根気がないようですから、そのあたりに一抹の不安があるのですが(笑)。これからは、若い方も、もう一度、座って生ける修行の大切さを感じていかれるのではないでしょうか。

Mademoiselle de Kobe

神戸のお嬢さん

明るく元気なファッションリーダー

松田明加（さやか）さん

（ル・リアンコーディネイター）

撮影／米田英男（六甲アイランドにて）

松田明加さんのお母様の翠さんはジャズダンスの教室の私の先輩で、JR住吉駅山側で20年間セレクトショップを経営なさっています。

明加さんはそのお母様の影響で小さい頃からファッションに興味をもたれ、短大卒業後は神戸のアパレルメーカーに4年間お勤めされましたが、この度「ル・リアン」というお店にリニューアルしご一緒になさることになりました。

「ル・リアン」というのはフランス語で「絆」という意味で名づけ親はこの私です。若い感性で今後も神戸のインポートファッションをリードしてくれることと期待しています。

推薦者　植木砂織
学校法人育成学園理事長

Mademoiselle de Kobe

神戸のお嬢さん

明るい現代っ子です

岩間今日子さん

（平安女学院大学1年生）

撮影／米田英男（ポートアイランドにて）

いつも目元が夢見るように優しい今日子さんは、「きょんきょん」の愛称で友達に囲まれています。人と上手にコミュニケーションをとるのが特技というだけあって、毎日楽しく過ごしているように見受けられます。

今年4月、高槻市の平安女学院大学生活環境学部生活環境学科に入学した、まだピカピカさの残っている1年生です。キリスト教の司式行事や雰囲気に戸惑ったり、「ライフスタイル」「ジェンダー論」の授業などで自分を見つめ直す機会を得たり、新しい発見の日々を過ごしています。

大学生を半年経験した感想は、「高校生の時と違い、自由時間がとても多くなりました。しかし、『自由』とはこんなにも大変だという事に気づかされました。それは、自分に責任がかかってくるからです。後悔しないように4年間頑張りたいです。」ということ。その気構えは、1年生の春学期からの成績や「1級衣料管理士（テキスタイルアドバイザー）」「上級情報処理士」の資格取得への挑戦にも現れています。

爽やかで礼儀正しく、そしてすらりと伸びた身体にポップス調のジーンズやセーターを上手に組み合わせた装いと、美しく描いたフィンガーネイルがチャームポイント。まだ、将来の方向性は定まっていませんが、常に美しくありたい、美しさを人々とともに楽しみたいと願っている、可能性を沢山秘めた現代っ子のお嬢さんです。

推薦者　堀田延子　平安女学院大学生活環境学部生活環境学科 教授

国境を越えて届けた小さな愛の粒！スーパールテイン

■ヒカルサロンに
金 順弼さんをお迎えして

聞く人　河合雅世
(株)ヒカルインターナショナル代表取締役

河合　金さんは、2年前に友人を通しての出会いでしたね。知らない者同志なのに、何だか昔から友人見たいに語り合ったのが昨日のようですね！

金　そうですね。あっという間の2年でした。私は20年近くうどん屋さんを営んでいる中、友人から愛用を薦められたのが始まりでした。立ち仕事でいつも疲れやすかったのですが、今は調子良いですよ！眼精疲労もどこかへ消えました（笑）。

河合　このスーパールテインって、本当に不思議な栄養素ですね！現在57万人近い愛用者がいらっしゃいますが、57万通りの何らかの体験があるんですよね！

金 順弼さん

河合雅世さん

金　その通りですね。私は生れが韓国で、妹達はプサンで暮していまが、その妹に脳腫瘍という病魔がおそいました。日本に居る私に心配をかけまいとして、手術はしたものの、術後が思わしくなく、私はいたたまれない思いで韓国へスーパールテインを届けに行きました。不安と悲しみでいっぱいでしたが、どこかに希望という小さな光りをスーパールテインに見ていました。必死でした！

河合　ほんとうに大変でしたね。現在妹さんはいかがですか？病気の原因の90％は、活性酸素のいたずらといわれますが、その恐ろしい要因が生活習慣なんですね。食生活がいかに重要か!!ですが、食卓から不足しがちな野菜たちがどんと詰まっているスーパールテインは妹さんに喜ばれたことでしょう。

金　ええ、それはとっても！感謝してくれました。術後体調も思わしくなく、抗癌治療で免疫力もなくしていましたので大変でした。最初は小さな野菜の粒（スーパールテイン）を信じたのではなく、姉の私の言葉を信じてくれたようです。今は癌の数値もゼロなんです。

河合　きっと妹さんは貴女の愛をスーパールテインに感じられたのでしょうね。

金　日本と韓国、近くて遠い国です。離れている妹の笑顔がまたよみがえり嬉しいです。

河合　姉妹愛を証明してくれたのがスーパールテインだったんですね。そして、金さんは伝えるということをもう一つの仕事として、がんばっていらっしゃいますね。うどん屋の店主で終わるはずだった人生をこの小さな粒が大きく変えたんですね。

金　そうなんです。感謝しかないです。妹の体験により更に確信が増し、多くの人に伝えなければという思いです。

河合　人生、予防医学と予防経済はずしては考えられませんね。身体と経済の健康の重要性。バランスをくずした時にハッと気づくんですね。私もそうでした（笑）。さて、来年の夢は？

金　妹に生きる喜びを与えてくれたスーパールテインを1人でも多くの人に伝えたいです。そして河合さんと韓国へご一緒したいです。

河合　再起した妹さんとお会いできるなんて嬉しいです。「喜びを伝える喜び」なんですね！

神戸クラシックカークラブ会員の
自慢のクラシックカーが次々と登場します。
車の種類は玉石混合ですが、自分の車に
対する思い入れは金額に関係なくお宝です。
愛人のように？

「僕をシシリーへ連れてってくれ！」

モレッティ750Sports　1954年式
文＝木下正紀（京都在住）

Essere Bambino（エッセレ バンビーノ）
いつまでも少年のように
13
神戸のクラシックカー

シシリア島にて　～タルガフローリオ（2001年）

1956年、ル・マンに出場。同年にモレッティ社は2台のスパイダーをル・マンに送りだしているが、このシャシーナンバー1494は、その内の1台である。又、ミッレミリアには1955年、1956年と出場するが、いずれもリタイヤに終わっている。

復刻版ミッレミリアには、私、木下のドライブにより1995年（リタイヤ）、1997年（ミッレミリア70周年記念レース）には見事、完走し、モレッティ社の創始者のジョバンニ＝モレッティ氏の夢を果たすこととなった。

1950年代当時のイタリアは、終戦後の日本において二輪メーカーが乱立したように四輪、二輪メーカーが雨後の竹の子のように出現した。オスカ、スタンゲリーニ、エルミニetc・と、モレッティ社もその中のひとつで、フィアットベースのスペシャルカーを顧客の注文に応じ、世に送りだした。しかし、ジョバンニの夢はそれでは終わらず、アメリカ市場へ向けた生産車を作り出すことになる。そして、その先鋒となったのが、モレッティスポーツによる、イタリア各地でのレース、フランスモレッティ社によるル・マン挑戦であった。現在、モレッティ750スパイダーと呼ばれるものは世界で3台現存している。

私はこのモレッティを1990年に入手。当時は、フォードのエンジンが載せられた可哀相な姿であった。その後、長野のストラダレ社の協力を得て、自製ツインカムを入手。各地のエンジンビルダー、ボディービルダー果ては、試作車を作る方々の協力を得て現在の姿となっている。

1997年ミッレミリア完走後、

ミッレミリア　フィレンツェのポンテベッキオをバックにチャオ！（1997年）

2001年夏には、ジーロ　デ　シシリア～タルガ　フローリオへと遠征している。

ここに面白い話がある。読者のみなさんが「エッ！」と思う話を披露しよう。

私は、シシリーをアバルト1000SPで走るつもりでいた。アバルトのシート合わせも終わり、いざ送り出す段になって、横に居たモレッティが、ささやくじゃないか。「僕をシシリーへ連れてってくれ！」って。

クルマの人格化というのも変だが、私とモレッティの関係はこのようである。1995年、ミッレミリア。スタート直後夜中の大雨。ちっぽけなライトで前が見えず、先行するクルマのテールランプを頼りに走ったこと。1997年ミッレミリアでは、岐阜のシチタリアオーナーから「お前、そのクルマじゃ完走ムリだよ！」って言われ、悲鳴を上げてるデフにoilをつぎたし、つぎたし完走したこと。涙と汗のストーリーをモレッティのシートに座ると今も思い出す。

〝熱き闘いを〟Viva Moretti!

SPEC
エンジン
748cc　エンジンNO.1491
モレッティ自製DOHC（ツインカム）
75HP／7000RPM
ボディ
アルミ製（手製）
ホイールベース1880mm
フロントトレッド1190mm
ホイール
FJ用12インチ　ボラーニ
ワイヤーホイール

BONSOIR MADAME

マダムコンバンワ(2)

いつも明るく、いつも元気 笑顔が素敵なママ

Annui（アンニュイ） 山上美咲さん

神戸の夜を彩る北野坂の中でもパレ北野坂には、神戸でも屈指のクラブやラウンジが入居している。その最上階にあるのが、オープンして2年目を迎えるアンニュイ。OLから転身した山上美咲ママは、「流されないで生きていきたいと思って、自分のお店をオープンさせました。私みたいに明るく元気なお店です」とにこやかに話す。

ママを支えるスタッフの中に中学からの友人がいる。「気のあう友人ならお給料が安くても頑張ってくれるかなと思って」。

アンニュイの店名も、お店のスタッフがママのことを評したときに「アンニュイ（気だるそう）という言葉がピッタリ」というところから名付けられた。もともとプロがいない素人集団だったので肩がこらずに、心からゆっくりとくつろげるのがアンニュイの良さ。撮影中もデジカメに写し出された自分の姿を見ながら一喜一憂。そして常に笑顔が耐えない。

ママの明るさに誘われて、午後8時の開店から常連のお客さんがひっきりなしに訪れる。不況なことなど感じさせない盛況ぶりである。

アンニュイ
神戸市中央区加納町4丁目7―11
パレ・ド・北野坂ビル9F
☎078―331―1128

60代を迎えてさらなる飛翔を
「小鼓」の蔵元西山酒造場
西山裕三社長バースディーセレモニー

西山社長自ら師と仰ぐ綿貫宏介先生と共に

還暦を迎えさらなる飛躍を誓う西山社長

丹波の美酒「小鼓」の蔵元・西山酒造場の西山裕三社長の還暦を祝うバースディーセレモニーが、11月9日、神戸ベイシェラトンホテル&タワーズで開催され、各界から西山社長と親交の深い人々がつめかけた。小鼓のラベルをデザインする綿貫宏介さん、(株)ロック・フィールド岩田弘三社長、有馬温泉御所坊・金井啓修さん御夫妻、(株)神戸ポートピアホテル中内仁社長の姿も。西山社長は「20代に綿貫先生と出会ったことで、大きな感銘を受けた。あの出会いがなければ、自分はどうなっていたかわからない。今日は私から皆さんへスペシャルプレゼントがありますので是非お楽しみにして下さい」と。

宴もたけなわとなってニューハーフショーが行われた。女性顔まけの美女(男)ばかり。優雅な中に笑いあり、大盛況の会であった。

綿貫先生のラベルに斬新なデザインのボトル

KOBE FASHION SPOT

★ハニー美容室

LOREAL GRAND SALON
HONEY

美容の仕事に就かれて41年という大ベテラン、ハニー美容室の重野富美子先生に、お話しを伺いました。

―昭和36年10月、三宮から東へ徒歩10分の住宅街二宮町の実家の庭を利用してオープンしたハニー美容室。当時私はまだ19歳で、初めは右も左も判らないまま、無我夢中で泣きながら頑張ってきました。あれから早41年経ち、今では私にはこの仕事が天職だと思います。

午前中は、キャリアウーマンや奥さまがた。午後からは三宮の綺麗どころのママや、女性たちがご贔屓にして下さいます。おしゃれなお客さまが多いので、常に今のファッションに敏感に目や耳を傾け、お客さまと共に日々勉強しています。

私の生き甲斐でもあるこのすばらしい仕事を、これから若いスタッフたちと一緒に勉強し、ヘアー・メイクだけでなく、着付けやその他オールマイティーな仕事ができる美容師を目指したいと思います。いつか『神戸のあぐり』と言われるように！

■神戸市中央区二宮町1―1―6
☎078―231―8618

富美子先生を目指す若きスタッフ

ベテランの技が光る重野富美子先生

★La Belle Vie

平成13年の3月にオープンしたブティック・ラベルビ。今回は中華料理研究家・潘節子さんが紹介して下さいました。

―オーナーのお母様とのお付き合いから、ラベルビさんとの出会いがありました。ふらっと入ったこのお店に私好みの服があり、お母さん娘さんの店と知らずに別々のお付き合いをしていたので二度びっくりです。

オーナーの船井璋子さんは、明るくてハート美人。神戸山手女子短期大学芸術科グラフィックデザインコースを卒業したセンスあふ

紹介者・潘節子さん

KOBE FASHION SPOT

おしゃれなマダム御用達のラベルビ

れる方です。もともとお母さんの玉栄さんが、神戸で戦前から舶来雑貨を扱うお店を営まれ、その影響もありおしゃれで、華やかで人懐っこい、生粋の神戸っ子らしさを持つ女性。（株）エフ・マイアミ商事で仕入れを歴任してきただけあって、セレクトした洋服、バッグ、アクセサリーとどれもそれぞれに個性的。いらっしゃる方も皆さんとてもいい人ばかりで、服よりも食事の話、お買物に音楽となんでも気の合う仲間がいつもたくさん集うので、とても楽しい友達ができる私のお気に入りのお店です。

皆さんも一度阪急六甲へいらっしゃい。三宮にはちょっとない素敵なお店です。

大満足の逸品を見つけて下さい

私は35年前に『神戸のお嬢さん』で神戸っ子に登場しましたが、今回ラベルビさんを紹介できるのも不思議なご縁があったんですね。

■神戸市灘区宮山町3―3―29
六甲ヒルコート101号
☎FAX 078―871―5638
営業時間　11時～19時
定休日　第1・第3日曜

素適なコーディネートをどうぞ

第27回井植文化賞表彰式

社会の発展に貢献した県ゆかりの6団体・個人を表彰

10月18日（土）、財団法人井植記念会（井植貞雄理事長）主催の第27回井植文化賞表彰式が、神戸市垂水区青山台の井植記念館大ホールで行なわれた。今年の受賞者は次のとおり。

【文化芸術部門】
田中ひな子（作家）
【科学技術部門】
薄井洋基（神戸大学工学部教授）
【社会福祉部門】
神戸コスモス（監督岩崎広司）
【地域活動部門】
垂水生活文化協会
（会長堀口東四郎）
【報道出版部門】
神戸新聞写真部（部長清田哲士）
【国際交流部門】
特定非営利活動（ＮＰＯ）法人
ブレーンヒューマニティー
（代表能島裕介）

受賞者には、井植貞雄理事長より、賞状及びブロンズ像、副賞の賞金が贈られた後、受賞者を代表して、田中ひな子氏が喜びの挨拶を述べた。この後の懇親会では、受賞者、選考委員ら約70名が歓談、それぞれの受賞を祝った。